高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教 科: 総合的な探究の時間 科 目: 総合的な探究の時間 単位数: 1 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 8 組

教科担当者: 1組:武井・伊藤 2組:坂本・世戸ロ 3組:松清・根岸 4組:真田・小森 5組:宇宿・菊地 6組:本澤・五十洲 7組:石村・岡本 8組:岩崎・白石)

使用教科書: (なし)

教科 総合的な探究の時間 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成する。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、情報の収集・分析、表現ができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組い、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】			
課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成する。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、情報の収集・分析、表現ができるようになる。				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	課題探究学習とキャリア学習 【知識及び技能】 選択したMISSIONに向き合い、課題 解決に必要な知識や、探究活動を果を 発表する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 MISSONで与えられた課題について考え、がループで協議し、をた、そのる力 を身に付ける。 【東を分かりやすくまとめ、伝えの力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 他を登ら。 自らのキャリアを考え、主体的に考え行動する姿勢を身に付ける。	『先生図鑑』(株式会社シンライン)を活用 <キャリア学習> キャリアガイダンスを実施	【知識及び技能】 MISSIONの課題を正確に理解し、自ら工夫して情報収集を行うことで、課題解決に必要な知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決の方法を考え、グループとしての結論を導き出し、わかりやすくまとめて表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力する姿勢を示し、課題解決しようとしている。 自らのキャリア形成について主体的に考え動こうとしている。	0	0	0	14
2 学期	課題探究学習 【知識及び技能】 導き出出した課題に向き合い、課題解 導き出出した課題に、探究活動を通じ て重ねた議論、協働作業の成果を発 表する技能を身に付ける。 【思考力、判断と挙げ、グループで 協議し、等では、グループで付ける。 また、伝える力分がける。 とまといて、伝える力、人間性等】 他者と協力して、課題に取り組む 資性がある。また、伝表を対して、課題に取り組む ですると協力して、課題に取り組む 質を養う。 他者と協力とないて、深究 等時に付ける。	< 課題探究学習 > 『大生図鑑』の成果をまとめ、校内発表会を実施 地域探究を実施 パワーポイントを活用した発表手法の工夫について、外部機関を活	【知識及び技能】 地域探究の課題を正確に理解し、自ら工夫して情報収集を行うことで、課題解決に必要な知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決の方法を考え、グループとしての結論を導き出し、わかりやすくまとめて表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力する姿勢を示し、課題解決しようとしている。 発表手法の工夫について学び、実践し、自らの課題に向き合って解決しようとしている。	0	0	0	14
3 学期	課題探究学習の発表、成年になるとは 【思考力、判断力、表現力等】 18歳成人を迎える立場として、成年 になる上での自覚や制度・生活面に おける変化などについて考え、大人 として適切な判断力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 値者と協力して、課題に取り組む資 質を養う。 一年間の成果をまとめ、発表する。	・文献資料 ・発表の実施 ・一人 1 台端末の活用 等 <成年になるとは> 成年になると起きる身の回りの変化について、外部機関を活用した	【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の課題から、問いを立て、解決の手 段を自分の人生と関連付けて考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して、課題に取り組む資質を養 う。 一年間の成果を発表として形に残そうとして いる。		0	0	7 合計 35